

月刊 新翔タイムズ

第89号 新翔タイムズ 編集室 発行・熊野新聞社

生徒たちのアイデア豊かに文化祭

「魅せる七海祭」華やか



平成27年度新翔高校文化祭「七海祭」が11月20日(金)、21(土)両日にわたり本校にて盛大に開催されました。本年度で41回目を迎えた七海祭、全体テーマはクラスや学校の「まとまり」を意識して設定された「Be Together as One ～魅せる七海祭～」。

【1班】…防災実技訓練(パーテーション組み立て、応急手当、心肺蘇生法、搬送訓練)

みくまの支援学校の生徒さんたちも交じって計約100人の生徒が6班に分かれ段ボールとダブルクリップを用いてパーテーションを組み立てにチャレンジしました。パーテーションとはシンプルながら災害避難時にプライバシーを保護するための大切な間仕切り。同時に撤収練習も行いました。



【2班】…避難所運営訓練

佐野地区の方々、本校教員、生徒が交じって5グループに分かれ、ワークショップ形式で緊急避難時における避難所の運営をシミュレーション体験しました。次々と提示される避難者カードの情報をもとに、その状況や要望を即座に判断しつつ避難所である体育館内外の適切な場所へ避難者や支援物資などを配置したり対応したりする術を学びました。各班とも頭を悩ませながらも運営を疑似体験しながら、避難所運営において自分たちができることを具体的に知るという目標を達成できたようです。



精力的に訓練に取り組む 和歌山県高校生防災スクール

10月29日(木)、本年度の和歌山県高校生防災スクールを本校にて実施しました。本校からは1年生150人、みくまの支援学校より生徒5人、地元佐野地区より本校学校評議員である前田様はじめ10人、育友会より4人に参加していただきました。全体会での開校式に続いて、参加者は以下の4班に分かれそれぞれが精力的に活動、訓練に取り組みました。

【3班】…炊き出し・配膳訓練

育友会の皆さまにお手伝いをいただき、調理実習室にてアルファ化米の炊き出しを行いました。味はカレー、チキンライス、山菜おこわ、わかめごはんの4種類。防災スクール参加者分をパック詰めし、駐車場に設置したテントにて参加者にペットボトルのミネラル水とともに配布しました。生徒たちはその後の昼休みに全員が配布されたアルファ化米をホームルーム教室で試食、ちなみに一番人気は今年もカレー味でした。



【4班】…ハザードマップ作り

本年度から新たに導入された班別ハザードマップ作成活動。新宮市を5地区に分けそれぞれ拡大白地図を用いて、7階級の津波による浸水区域を青で、14階級による区域を赤で色分けしつつマップを作成。まとめとして各地区ごとの最適な避難場所を提示するといった班別の考察を発表しました。生徒たちは午後からは活動のまとめとしてアンケート記入と感想文をまとめました。参加者一人ひとりがそれぞれの活動を通して防災意識をしっかりと高め、災害に備え、耐え、乗り切るために防災、減災に向けて「防災リーダー」としての各自の役割をより明確にすることができました。



■ステージパフォーマンス「新翔ソニック」
初日の開会式ではまず生徒会企画動画が上映され、各クラスの文化祭前の制作の様子やメイキングビデオが紹介される。文化祭スタートの気運も一気に高まりました。続くステージ発表の部では3年生を中心に各クラスともダンスパフォーマンスやスクリーン上の動画などを巧みに織り込んでアイデア豊かな発表を行いました。

午後からの新翔名物「新翔ソニック」では事前の厳正な審査をクリアした9組が次々と登場。ギター弾き語り、独唱、小野君の飛び入り参加も石さんのおかげで3年生有志数名がステージ上へ。フロアのオーディエンス盛り上げ役に一役買っていました。また2年

■シンガーソングライター丸石輝正さんも登場
一般開放となった2日は、新宮出身で東京を拠点に活躍されているシンガーソングライター丸石輝正さんの地元凱旋ツアー。丸石さんの地元凱旋ツアーは、新宮出身で東京を拠点に活躍されているシンガーソングライター丸石輝正さんの地元凱旋ツアー。丸石さんの地元凱旋ツアーは、新宮出身で東京を拠点に活躍されているシンガーソングライター丸石輝正さんの地元凱旋ツアー。

■チームワークの結晶
展示部門では1年生を中心に、デジタルモザイクアート、ネット壁画、巨大キャラクターなどが目を惹きました。

■茶道部のお茶会、建設技術部による「川原家」復元展示(しんげうん音昔まつり)でも展示、防災壁新聞の掲示等、新翔ならではの企画も盛りだくさん。

本年度募集の「税に関する高校生の作文」で、美術・島田先生の大作を筆頭にきわめて格調高

完璧なデュエットでサポートしていたり、今年3年生限定模擬店でしたが、4クラスとも工夫をこらしたメニューで、オリジナルでユニークな味覚を提供してくれました。また育友会の皆さまにはカレーライスでパザールに参加していただき、今年はおつという間の10食ヒド、完了となりました。

畑中悠里さんが税務署長賞

税に関する高校生の作文

本年度募集の「税に関する高校生の作文」で、美術・島田先生の大作を筆頭にきわめて格調高く、497作品の中から本校3年1組畑中悠里さんが見事に「新宮税務署長賞」を受賞。11月19日(木)には新宮税務署より土江総生署長が来校され校長室にて表彰式が行われました。

作文で畑中さんは、何気なく見ていたテレビのニュースから「児童扶養手当」の使われ方に注目する中で「税金」に対する自分の考え方が劇的に変化したエピソードをしっかりとらした文体と筆致で表現。表彰式では土江署長から賞状を授けられ、長からも自身自身を振り返りつつしっかりと「税」についての考察ができていたことのお褒めの言葉をいただきました。

授賞式後の報道各社からインタビューでは、「文芸部の活動や国語の授業を通してしっかりと文章表現を意識してきたのでそれが評価されたうれしいです。これからも『税』について自分自身の問題として考えていきたいです」と笑顔で話していました。



弓道部 山本妃可留さん全国大会へ

10月23日、24日に本校弓道場で行われた平成27年度和歌山県高等学校弓道新人大会女子個人の部で本校2年山本妃可留(ひかる)さんが優勝、近畿大会、全国大会への出場が決定しました。

日頃の地道な鍛錬の成果を遺憾なく発揮し、計11射で予選を通過した山本さんは、決勝で紀央館高校1年生の生駒佳永さんと思詰まる「射詰競射」を制して6-2に優勝、女子個人戦参加77人の頂点に立ちました。また本校弓道部からは22年ぶりの全国大会出場となりました。

新人大会女子個人の部で優勝

*弓道をはじめてきつかけは？
小学生の頃にテレビで見ることがあって、弓を引いている姿がかっこよくて自分もやってみたいと思ったからです。

*弓道の楽しさ、魅力とは？
弓道をやる前は、簡単そうに見えていたのですが、実際にやってみると難しくなりました。最初はぜんぜんに当たらずに、毎日練習をして少しずつ当たっていき、弓道は楽しいと思えました。

*全国大会に向けてのいきみや、抱負などお聞かせいただけます。
あまり自信はないのですが、上位に入れるように頑張ります。次の大会では、後輩達にも優勝してもらいたいです。



生徒たち元気よく呼び掛け

佐野駅でマナーアップキャンペーン
11月17日(火)、紀伊佐野駅にて本年度2回目の「マナーアップキャンペーン」が実施され、本校生徒も職員とともに参加しました。参加したの

生徒たち元気よく呼び掛け

11月17日(火)、紀伊佐野駅にて本年度2回目の「マナーアップキャンペーン」が実施され、本校生徒も職員とともに参加しました。参加したの